



## うめきた2期区域の先行まちびらき日

令和6(2024)年9月6日に決定

独立行政法人都市再生機構(以下、「UR都市機構」)は、うめきた2期区域において、大阪府、大阪市、三菱地所株式会社を代表企業とするグラングリーン大阪開発事業者JV9社<sup>\*1</sup>(以下、「グラングリーン大阪開発事業者」)、JR西日本等と連携し、都心部におけるこれまでにない魅力をもった大規模な「みどり」の空間の創出や、ライフデザイン・イノベーションをテーマとした新産業の創出拠点の形成等により、「『みどり』と『イノベーション』の融合拠点」の実現を目指しています。

この度、UR都市機構、大阪府、大阪市、グラングリーン大阪開発事業者、JR西日本が連携し、令和6年9月6日に、うめきた2期区域の先行まちびらきを行うこととしましたのでお知らせします。



UR都市機構は、うめきた2期区域で土地区画整理事業及び都市公園事業による基盤整備を進めています。先行まちびらきにより、国内外から多くの人々が来訪する大阪・関西万博を一層盛り上げ、大阪・関西の発展をけん引するとともに国際競争力の強化に資する拠点の形成を推進してまいります。

<sup>\*1</sup> 三菱地所株式会社、大阪ガス都市開発株式会社、オリックス不動産株式会社、関電不動産開発株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、阪急電鉄株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、うめきた開発特定目的会社

<本件に関するお問い合わせ先>

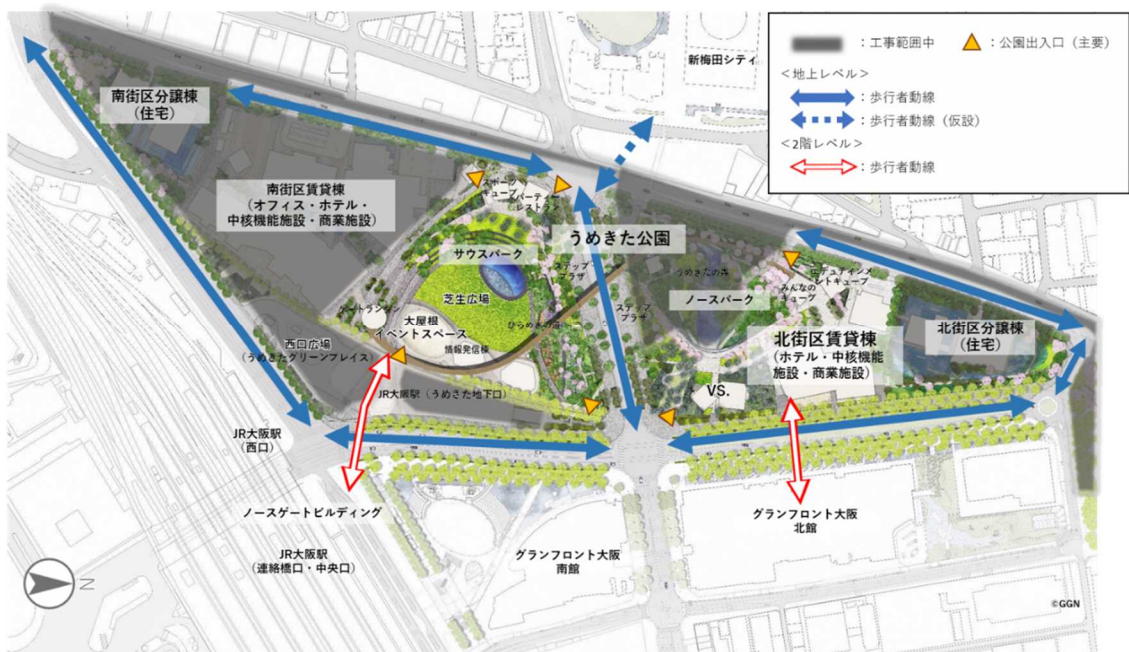
UR都市機構 西日本支社 総務部 総務課(広報担当) TEL: 06-4799-1231

## ■先行まちびらきの日程と開業範囲

- 令和6年（2024年）9月6日
  - ・うめきた公園：サウスパーク全面・ノースパークの一部
  - ・民間敷地：グラングリーン大阪北街区賃貸棟
  - ・西口広場：うめきたグリーンプレイス内歩行者デッキ



## ➤ 先行まちびらき時に通行可能な歩行者経路



※新梅田シティ方面へは、当面、仮設通路のご通行が可能です。

※整備状況により仮設通路の位置は変動します。

※開業範囲については今後の検討により変更となる可能性があります。

(参考) 令和7年(2025年)春頃の開業範囲

- ・ うめきた公園：サウスパーク全面・ノースパークの一部
- ・ 民間敷地：グラングリーン大阪北街区賃貸棟・南街区賃貸棟
- ・ 西口広場：うめきたグリーンプレイス全体

(注) 下線は令和7年(2025年)春頃に新たに開業する範囲



※開業範囲については今後の検討により変更となる可能性があります。

#### ■経過と今後の予定

平成27(2015)年3月	うめきた2期区域まちづくりの方針策定
平成30(2018)年7月	うめきた2期民間開発事業者決定
令和2(2020)年12月	民間開発工事着手
令和4(2022)年5月	公園工事本格着手
令和5(2023)年3月	JR大阪駅(うめきたエリア)開業
令和6(2024)年9月	先行まちびらき

～以降、段階的なまちびらき～

令和7(2025)年春頃	賃貸棟全面開業(グラングリーン大阪南街区賃貸棟)、 西口広場(うめきたグリーンプレイス)全面開業
令和8(2026)年度末	基盤整備完了
令和9(2027)年春頃	公園全体開園
令和9(2027)年度	全体まちびらき

## ■ うめきた公園の概要

計画地	大阪市北区大深町地内（大阪都市計画公園 5・4・32 号大深町公園）
公園名称	うめきた公園
面積	約 4.5ha
整備	整備主体：大阪市・UR 都市機構（以下「公共」） 整備手法：防災公園街区整備事業（一部、土地区画整理事業） 公共によるベースグレードの公園整備に加え、グラングリーン大阪開発事業者のデザイン提案等によるまち全体の魅力を高めるアップグレードを実施後、大阪市の移管予定。
設計	基本設計：株式会社日建設計・株式会社三菱地所設計 実施設計：株式会社日建設計
施工	大林組・竹中工務店・竹中土木特定建設工事共同企業体

## ■ 現況写真（R6. 2. 20 撮影）



## ■ 関連リンク

大阪府報道発表資料

<https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=50444>

大阪市報道発表資料

<https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/osakatokei/0000620342.html>

グラングリーン大阪開発事業者報道発表資料

<https://umekita2.jp/information/1360/>

JR西日本報道発表資料

[https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/02/page\\_24580.html](https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/02/page_24580.html)

※本資料で使用しているパース（提供：グラングリーン大阪開発事業者）

<本件が取り組む SDGs>



<UR 都市機構について>

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<UR都市機構公式サイト>

<https://www.ur-net.go.jp/>



<うめきた都市再生事務所 Instagram>

<https://instagram.com/umekita2ur>

